

会員各位

## 第5回ブルーベリー研究発表会 開催についてのご案内

一般社団法人日本ブルーベリー協会  
会長 江澤 貞雄

会員の皆様には当協会の活動に対しましては、日頃から格別なご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本邦にブルーベリーが導入されてから、はや67年が経過しております。その間において、本果樹の生理生態は徐々にではありますが、明らかになりつつあります。多くの研究者の方々の力も借りながら、わが国のブルーベリー栽培はこの間手探りですが、日本型ブルーベリー栽培を目指してきています。

日本における栽培は、ご承知のように外来植物をピートモスなどの外来資材を使って栽培するきわめて特殊な状態にあり、栽培圃場は独自の生態系を構成しております。今回の研究発表会では、これらにかかわる「ブルーベリー研究の最前線」を紹介していただき、その知見を活用し、圃場の生態系の理解を深め、新たな栽培方法も模索していきたいと思っております。

品種についても研究の最前線にある「結実年齢の短縮化」は、悲願の日本型“リーディングバラエティ一品種の育成”に近づくことを期待せずにはられません。

多収を目指す夏季剪定技術については、データを基にした正確な理解が得られることを期待しております。

ブルーベリーを取りまく環境が変わりつつあるなか、新規就農者が直面している様々な問題点を整理し、その解決方法についても討論していただきたいと思っております。

記

**日時** 2019年5月19日（日） 受付：12：30

◎第5回ブルーベリー研究発表会：13：00～17：15

◎情報交換交流会（懇親会）：17：45～20：00

**場所** 東京農工大学農学部 第一講義棟2階 1講-24号教室

東京都府中市幸町3-5-8

50周年記念ホール（情報交流会）東京都府中市晴見町3-8-1

**参加費**

研究発表会 会員5,000円 / 一般7,000円 学生無料

情報交流会 5,000円

## - 研究発表プログラム -

1	東京農工大学農学部 准教授 伴 琢也氏 「菌根菌共生を活用した栽培方法」	13 : 00～13 : 45
2	東京農工大学農学部 特任准教授 杉原 創氏 仮題「土壌中有機物の循環解明と栽培への応用」	13 : 45～14 : 30
休憩		14 : 30～14 : 45
3	東京農工大学農学部 博士研究院 大石 麻南登氏 仮題「結実年齢の短縮化」	14 : 45～15 : 30
4	東京農工大学農学部 技術専門職員 乃万 了氏 仮題「夏季剪定による着果制御」	15 : 30～16 : 00
5	三重県伊賀市 大垣 由美子氏 仮題「新規就農者からの情報提供」	16 : 00～16 : 30
休憩		16 : 30～16 : 45
総合討論		16 : 45～17 : 15
◎情報交換交流会 50周年記念ホール（懇親会）		17 : 45～20 : 00



＜東京農工大学で開催された第3回ブルーベリー研究発表会 開催風景＞

### ❁お申し込み方法❁

お申し込みは、p.15のお申し込みページをご覧ください。

- (1) p.15のお申し込みページを切り離してご記入の上ファックスしてください。  
郵送・Webからの申し込みも可能です。
- (2) 同封のお振込用紙にて参加費のお振込をお願いします。  
この2点で参加受付とさせていただきます。

※どちらか1つでは参加となりません。振込だけでなく、  
必ず(1)のお申し込みお手続きもお済ませ下さい。